

# ブリの食味アンケート結果報告

平成10年1月発行うしおにも掲載しましたが試験場では、飼育試験に使用した1歳魚ブリを用いて食味アンケート調査を実施しています。平成9年度に引き続き平成11年度も実施しましたので、続報として、紹介したいと思います。

## 1 使用したブリについて

本試験は「高品質配合飼料開発研究」という名称で、脂質高含有固形飼料の1才魚ブリに対する成長、飼料効率に及ぼす効果を検証する試験を実施しています。

平成11年度の試験区は、平均体重約3kgのブリを用い、表-1に示すとおり対照区としてモイスト・ペレット（以下、MP）区と脂質レベル18%の基本飼料から脂質レベル28%の高脂質飼料への給餌開始時期の異なる3試験区の計4試験区を設けて試験を行いました。以上の飼料を給餌して平成11年9月から平成12年2月まで飼育試験を実施しました。

表-1 試験の実施計画

	10月	11月	12月	1月
EP-1区	18%飼料	28%飼料		→
EP-2区	18%飼料	→	28%飼料	→
EP-3区	18%飼料		→	28%飼料
MP区	MP			→

飼育試験終了後、約5kg強に成長したブリを取揚げ、食味アンケート調査を実施しました。

試験終了時魚体の一般成分結果を、表-2に示します。

表-1 試験の実施計画

	水分	粗蛋白質	総脂質	灰分
EP-1区	62.5	22.0	13.7	1.3
EP-2区	65.5	22.8	10.2	1.4
EP-3区	65.5	24.0	8.1	1.3
MP区	66.8	25.5	6.9	1.4

これを見ると、飼料の28%の高脂質飼料投与期間が長くなれば、魚体への脂質含有量も高くなる傾向が見られています。

## 2 食味アンケート調査結果

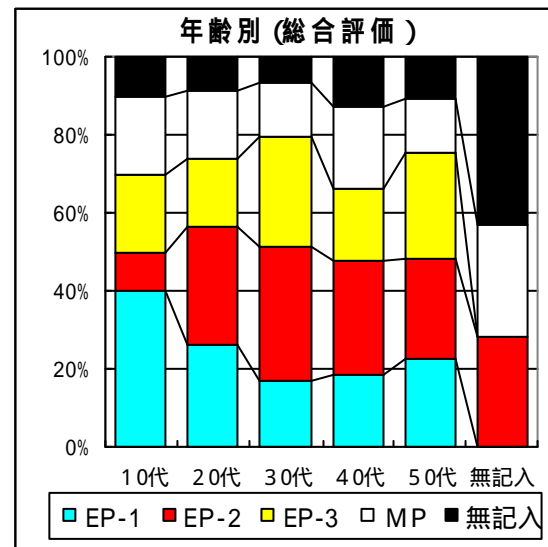
食味アンケート調査は、先ほどの4試験区の魚体を刺身で試食し、魚肉の色調、つや、臭い、食感、脂ののり、旨味の各項目と総合的な評価について比較し、一番良い2点から-2点までの5段階評価してもらいました。モニターは鹿児島県内、九州、四国、関東、関西の水産試験場、大学、漁協職員、漁協組合員等の方々に、総計524人でした。

これらを年齢別、地域別、男女別について集計しました。集計方法は、各試験区について点数の積算で集計した数値で表しました。

誌面の都合上、個人の総合評価のみを示します。

### (1) 年齢別評価

年齢別の嗜好の相違について各年代ごとに比較しました。有効回答数は、10代=10名、20代=131名、30代=164名、40代=104名、50代=108名、年齢無記入=7名でした。



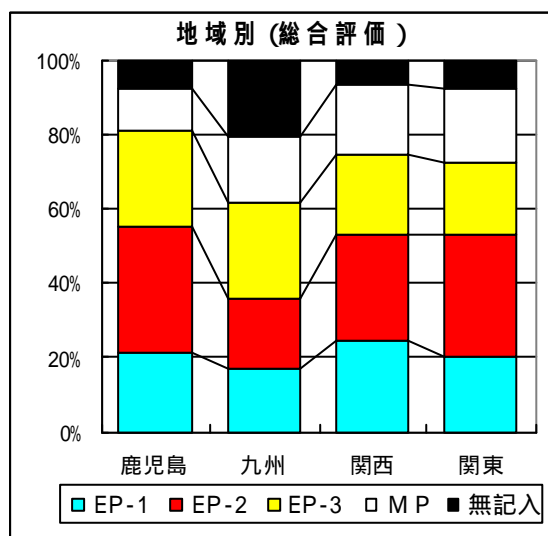
年齢別の総合評価は、10代は EP-1, MP, E

P-3, EP-2の順に評価が高く, 外観, うまみが総合評価に反映しているように思われました。20代以降の年代はEP-2の評価が高く, 20~30代は, 外観, 脂ののり, うまみ, 歯ごたえの総合評価で判断され, 40代以降の年代は, 外観, 脂ののり, うまみの3要素で総合評価が判断されているものと推察されました。年代的には, 30代の評価が最も厳しく, EP-2区を特異的に評価していました。他の年代は固形飼料の評価が全体的に高い傾向にありました。

### (2) 地域別評価

地域による嗜好の相違について, 鹿児島県, 九州(鹿児島県を除く), 関西(四国を含む), 関東の4ブロックに分けて比較しました。

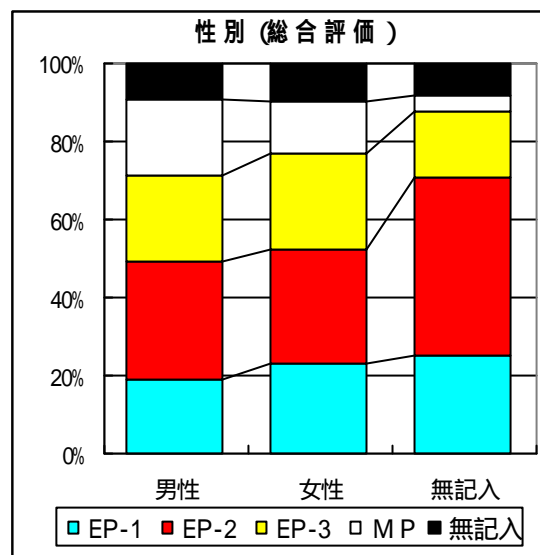
有効回答数は, 鹿児島県 = 172名, 九州 = 78名, 関西 = 118名, 関東 = 156名でした。



鹿児島県は, EP-2区の評価が飛び抜けて高く, MP区への評価が最も厳しく, EP-2, 3, 1の順に評価されました。九州については, EP-2, 3の評価が高かったものの, 歯ごたえで, EP-1, 2の評価が低かったため, EP-3, 1, 2の順に評価されました。関西と関東は, ほぼ, 似たような傾向を示しましたが, 関西の方が脂ののりの評価が高く, 関東よりもEP-1区の評価され, 九州を除く地域は, EP-2, 3, 1の順に評価が高い傾向にありました。

### (3) 性別評価

性別による嗜好の相違について, 男性と女性, 性別無記入者に分け比較した。有効回答数は, 男性 = 320名, 女性 = 180名, 性別無記入 = 24名でした。



男性は, EP-2, 1の, 女性はEP-1, 2の順に評価が高く, 男性は, 外観にこだわらずに脂ののり等の味覚を総合的に判断しているのに対し, 女性は, 外観的にMPの評価が最も厳しく評価している傾向にあり, 従って, 総合評価もEP-2の評価が, 最も高い傾向にありました。

以上, 食味アンケート調査結果について報告しましたが, この結果が, 養殖プリの消費者の指向を反映しているわけではありません。しかし, 食べる人の, 年齢, 性別, 地域により, 好みは十人十色であることがわかっていただけたと思います。

なお, 今回の試験では, EP-1区の成長がMP区よりもわずかに勝り, 高脂質飼料は十分にMPの代替えになる結果が得られています。加えて, 食味で優れ, 環境に優しいEPの利用と普及が, 鹿児島プリのブランドイメージを高めることになるのではないのでしょうか?

(化学部 山下)